



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

令和6年6月5(水)～6日(木)
EE 東北 '24 へ出展 編

建設事業に関わる新技術や新たな情報を公開する EE 東北(会場:夢メッセみやぎ)に日本風景街道「のしろ白神の道」の活動と「バイオ炭を活用した炭素貯留と防草対策手法の研究」を紹介するために、出展してきました。

開催日の前日である4日(火)からブースの準備に取りかかり、パネルの一部に記載ミスを発見するというハプニングもありましたが、東北技術事務所の協力を得てリカバリーをすることができ、無事に準備を終えることができました。

開催当日は早めに入り準備を進めながら、近所のブースと情報交換していると、我々が出展した西館展示場では特に開始の合図もなく開始時間の10時が過ぎ、開会セレモニーを終えた方々が流れてきての展示開始となりました。

秋田県立大学木材高度加工研究所と能代河川国道事務所の共同出展という組み合わせ、通常の2倍の広さがある入りやすさ、木材を取り扱ったブースと他と毛色が違うことや、CPD/CPDS 入場証明のすぐそばだということもあり、たくさんの方が目にとめて立ち寄ってくれました。

特にウッドチップ舗装の歩き心地を試してもらうように勧めると柔らかくて気持ち良いと評判で、その後に「のしろ白神の道」や「バイオ炭の研究実験」の紹介を行うという流れでスムーズに説明することができました。木高研の栗本先生と渡辺先生の説明はさすがに詳しく、結構長い時間の説明となっていました。

一通り説明を聞いてもらった人には、R7 と E7 のコースターセットまたは、カードスタンドをプレゼントしましたが、R7 の人気が高く、44組はあっという間に無くなってしまいました。

たくさんの人に見学してもらい、盛況だったため用意していたパンフレット(NW200部、研究所100部)やチラシ、カードスタンド(100個)も2日目の昼には無くなってしまい、うれしい誤算となりました。

NWの多様な「木の香る道づくり」を初めて大きな展示場で紹介しましたが、2日間に渡り良いPRができたことと自負できる出展となりました。

文: 館山 幸大



能代を8時に出発、13時から手分けして設営です。



2日目不在の栗本先生、説明にも熱が入ります。



2日目は大学名を見た採用担当の方も来られました。



好評だった秋田杉のコースターとカードスタンド